

(錦江湾重富干潟)

特定非営利活動法人 くすの木自然館

錦江湾の奥に位置する重富干潟は、53haを有する錦江湾最大の干潟です。また、「日本の重要湿地500」にも選ばれ、国立公園の指定を受けています。干潟周辺には、四季を通じて渡り鳥が飛来し、地上ではコメツキガニやマメコブシが生息しています。干潟の中には貴重なハマグリやアサリ、ゴカイなどの生物が錦江湾の浄化機能を担ってくれています。

「NPO法人くすの木自然館」は、重富干潟をフィールドに自然観察を中心とした環境教育プログラムの提供や講演、自然学校、野鳥調査などの環境教育を通して「豊かな郷土の風土を後世により状態で継承していくこと」を目的として、昭和58年より活動を開始し、平成7年にNPO法人が設立されました。

平成13年当時は、管理が行き届いていなかっ

た海岸や駐車場は荒れ果て、散策する地域住民の姿も見られなくなっていました。この状況を改善し、海岸に地域住民の姿を取り戻すため、住民と一緒に、ゴミの種類、量と発生場所をデータ化し、ゴミを捨てにくい環境を作り出すなど戦略的な対策を打っていくことで徐々に効果が現れるようになってきました。更に、根本的な解決に至るように重富海水浴場の利害関係者を集めたワークショップをコーディネートし、干潟の重要性を情報発信しながら地域住民の環境保全に対する意識啓発活動も実施しました。その結果、美しい海岸が保たれ、多くの利用者が訪れるようになりました。高齢者や体の不自由な方々も利用される機会が増え、どなたでも干潟体験ができる車いすや施設を導入することで利用者から好評を得ております。



毎日行われるクリーンアップ



バリアフリーな干潟体験



気持ちを癒してくれるマツボックリロード



干潟で行われた観察会



人気エコツアーリズムの「ゴカイ観察会」

- ◆所在地
鹿児島県始良市平松地内
- ◆活動内容
海岸清掃活動（毎日）、環境教育・調査（通年）、地元漁協との協同による水産資源の増殖、重富干潟でしか体験できないエコツアーリズム（通年）
- ◆活動主体及び連絡先
特定非営利活動法人 くすの木自然館（0995-67-6042）
<http://www.kusunokishizenkan.com>
- ◆対象となる社会資本
錦江湾重富干潟

